

シイの実通信

令和7年3月
発行：大島地域青少年育成推進協議会
(鹿児島県大島支庁総務企画課内)
〒894-8501 奄美市名瀬永田町17-3
TEL：0997-57-7218 / FAX：0997-57-7219

令和6年度大島地域青少年環境づくり懇談会

令和6年度大島地域青少年環境づくり懇談会が12月3日(火)に大島支庁で開催され、関係業界、学校、警察、地域、関係機関・団体等の代表者の方々52名(オンライン参加者10名含む)にご出席いただきました。

大島支庁からは、大島管内の青少年育成活動の取組状況について説明をしました。また、奄美警察署、瀬戸内警察署からは、それぞれ管内の青少年の犯罪・補導状況について説明があり、情報共有を図りました。県青少年男女共同参画課からは県全体の立入調査結果について報告がありました。また、「SNSのトラブルについては学校側だけでは把握できないケースもある。」「青少年問題については、関係機関の連携が必要だが、どのように連携を図っていくのか。」等の意見や情報交換が行われました。

大島消費生活相談所からは「現場から伝えたい青少年と消費者トラブル～自立した消費者を目指して～」と題した講演があり、青少年に多い消費者トラブル、未成年者の消費者を保護する制度等について説明がありました。また、青少年が消費者トラブルに遭わないための対策や子どものオンラインゲーム無断課金につながる事例の紹介等があり、注意喚起をしました。



大島消費生活相談所による講話

大島消費生活相談所

相談無料
秘密厳守

0997-52-0999

【受付】平日9時～17時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

保護者ができる子どものゲーム課金トラブルを防ぐ方法

* ゲーム課金のルールを
家族で話し合ひましょう!

* ペアレンタルコントロールを
利用しましょう!

* プラットホームとキャリア決済の
アカウントの設定を確認しましょう!

- ☒ 決済時にパスワードが必要になっていますか。
- ☒ 決済完了メールが届くようになっていますか。
- ☒ キャリア決済の上限額は設定されていますか。

(出典:独立行政法人国民生活センター令和3年8月12日公表資料)

令和6年度「優れた地域塾」認証団体 『和太鼓組「誠」』(与論町)



平成22年から発足し、毎週金曜日に異年齢の児童同士で切磋琢磨しながら、和太鼓の練習を行っています。与論小学校の児童を中心に郷土愛を育むための地域貢献や地域に根ざした伝統芸能継承活動を目指しています。

活動を通していくうえで自分の思いを伝え合うことの大切さを学び、リーダー・後継者育成にも力を入れ、自主的な活動に率先して取り組んでいます。

「優れた地域塾」とは、「かごしま地域塾」の要件を満たし、他の団体の模範となると認められた団体のことです。

これまで「優れた地域塾」に認証された団体

- ・ 阿室っ子E倶楽部(字検村)
- ・ 嘉鉄子ども会(瀬戸内町)
- ・ 龍郷やちやぼう塾(龍郷町)
- ・ 徳之島闘牛太鼓(徳之島町)
- ・ 天城小校区子ども会育成会(天城町)
(稲作体験教室)
- ・ 「えらぶ世之主伝説」わらんちや体験交流プロジェクト(和泊町)
- ・ 出花字子ども地域塾(和泊町)
- ・ 知名町子ども会(知名町)
- ・ ゆんぬエイサー(与論町)
- ・ 那間エイサー・三味線同好会(与論町)

「家庭の日」(毎月第3日曜日)の普及・啓発のための作品展がありました。県内の取組総数は、絵画・ポスターの部2,594点、標語の部18,500点、応募総数は、絵画・ポスターの部2,354点、標語の部732点の作品がありました。

大島地域からは、絵画の部3点、標語の部7点の作品が入賞しました。

入賞作品は、奄美パーク(2/22~2/27)、県立奄美図書館(3/1~3/6)でも展示され、鹿児島県青少年育成県民会議ホームページにも掲載されています。

祝

絵画の部 優秀賞



「大好きな弟とすべり台」
奄美市立金久中学校 3年 西野 結海

祝

絵画の部 努力賞



「私の大切な家族」
喜界町立喜界中学校 2年 園田 悠



「祖母の手をとって」
奄美市立金久中学校 1年 大重 杏奈

祝

標語の部 努力賞

盆まえにおはかのそうじ 家族みんなで

奄美市立宇宿小学校 4年

新保 光姫

家族みんなで車あらい 笑顔と水が はじけとぶ

知名町立知名小学校 5年

横山 芽依

兄と僕 繋いでいるのはいつも母

奄美市立芦花部中学校 2年

貞永 有晴

祝

標語の部 優良賞

お父さん 姉妹でのれる 大きな背

天城町立岡前小学校 2年

宮田 和奈

メディアオフ 家族の会話で 満たされる

瀬戸内町立古仁屋小学校 3年

仰にこ

わが家では みんなが口ぐせ 「ありがとう」

天城町立岡前小学校 5年

高田 汐里

祝

標語の部 優秀賞

てつだって 「はい」 なにかな がんばるぞ

瀬戸内町立古仁屋小学校 1年

江場 結月花

令和6年度「第46回少年の主張鹿児島県大会」応募作品の紹介



人格を形成するうえで重要な時期にある中学生が、日常生活の中で考えていることを広く県民に訴えることにより、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝える力などを身につける契機にもらうために、毎年実施されています。今回は、大島地域からの応募作品、天城町立北中学校3年中山そらさんの作文「闘牛の島」、喜界町立喜界中学校2年南香菜さんの作文「人をつなげる笑顔のあいさつを」を紹介します。

天城町立北中学校 3年 中山 そらさん 「闘牛の島」

*中略してご紹介します。ご了承ください。

「ヒーヤイ!ヒーヤイ!」

これは闘牛の試合を行う際の掛け声です。みなさんは、徳之島で四百年以上続く伝統的なイベント、闘牛を知っていますか?

(中略)

どちらも一トン超えの巨漢で無敗同士の戦いでした。試合開始直後、豊島幸輝心は、柵に押し込まれ、逃げるかと思いきや、ツノ掛け技で応戦しました。「カン、カン」と角同士のぶつかる音が会場中に響き渡ります。どちらも、互いの顔を見つめ、一歩も譲りません。それぞれの牛に付く勢子も「ヒーヤイ!ヒーヤイ!」と掛け声に一層力が入ります。観客は牛や勢子以上に声を張り上げ盛り上がる人、グッと息を殺して、試合に見入る人と様々でした。私も、牛たちの戦いを、手に汗握り、ドキドキしながら見守りました。

二頭の攻防は、三十三分にわたって続きました。ついには、豊島幸輝心が、藤野組闘勢琥珀に対し、腹取り速攻で見事逆転勝利しました。

勝利した豊島幸輝心は、柵に追い込まれたときのダメージで左前脚から出血しながらも逃げずに戦い、勝利を獲得しました。その諦めずに戦う姿に感動しました。

この戦いを最後まで見て、私の夢はより強いものとなりました。

それは、チャンピオンの牛を自分で育て上げるということです。

私も闘牛牛を二頭飼っています。まだ二頭とも一歳ですが、これから試合でデビューする日がとても楽しみです。チャンピオンを目指すために、今から毎日のお世話を頑張りたいです。今でも、一緒に散歩をしたり、浜を歩かしたりしています。他の牛と稽古をして技を磨くこともしたいです。そして、牛との信頼関係を築くことを大切にしたいです。何をするにも優しく声を掛けて、愛情を持って接することで、牛も安心して戦いに臨むことができると思います。そして、すぐに逃げない根性をもった牛に育てたいです。まだまだ牛のことは知らないことばかりだけれど、これから牛と一緒に成長していったら、一緒に全島一チャンピオンになりたいです。また、豊島幸輝心を超えて、歴史に残る牛に育てたいです。

私には、全島一チャンピオンになることの他に、徳之島の闘牛を全国、世界へ広めたいという夢があります。実際に見てみないと分からない迫力をもっと多くの人に体験してほしいです。そして、もっと闘牛のよさを知ってほしいです。

喜界町立喜界中学校 2年 南 香菜さん 「人をつなげる笑顔のあいさつを」

*中略してご紹介します。ご了承ください。

ある日の登校時、小学生とすれ違った。近所の人にあいさつをされたのに、顔を伏せ、早歩きで小学校へ向かって行く後ろ姿をみて私は思った。

「ああ、自分も同じことをしていたのか」

小学生のころの私は、あいさつをしなくても大丈夫だろう、一緒にいる友達がしてくれたら自分もしたことになるだろう、と思っていた。自分から積極的にあいさつなんてしたことがなかった。私の地域には、登校を見守ってくれる保護者の方々がいる。私はそれを当たり前だと思い、全く感謝していなかった。それどころか、あいさつすら返していなかった。子ども達の安全と笑顔を守るため、毎朝取り組んでくれていたのに、感謝をしていなかった自分が情けなかった。顔見知りの子、元気にあいさつしている子、無愛想な子。誰にでも大きな声であいさつしてくれていた。今では、登校を見守ってくれていた保護者の方々に感謝を伝えたい。保護者の方々からもらったあいさつは、朝の登校を気持ちのいいものにしてくれていたことに気付いたからだ。

(中略)

私の学校では、毎朝、正門に先生方が立っている。自分からあいさつをすると心に決めた私は、大きな声であいさつをした。すると、先生方が、私のあいさつをほめてくれた。その瞬間、これまであいさつの件で色々あった事が、すぐ報われた感じがして嬉しかった。それをきっかけに、私はあいさつを交わすことが好きになり、会った人にあいさつをするのを忘れなかった。初めて会う人にあいさつをすることもふえた。最初は、少し不安だったけど、それを気にせずあいさつができるようになった。

あいさつをするまで、全く知らなかった人もいたが、次に再会し、あいさつをすることがあれば笑顔のあいさつになることだろうと私は、そう感じている。

あいさつは、とても短い言葉だ。

「おはようございます。」

こんなに短い言葉は、人との繋がりの上で小さな一歩に変わり、この一歩一歩が身近なところから学校内へ。そして、社会へと歩を進めていき、大きな一歩になることだろう。あいさつが苦手な人も、まずは、あいさつを交わしてみよう。きっと、いい気持ちになるはずだ。人をつなげる笑顔のあいさつを私は絶対に忘れない。

ふるさと
「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間 ～特色ある取組～

11月は「郷土に学び・育む青少年運動」の強調月間です。今回は、伊仙町と与論町の特色ある取組を紹介します。

伊仙町 「人権標語・ポスター」



昭和23年12月10日、国際連合第3回総会で採択された世界人権宣言を記念し、毎年12月10日は「人権デー」として、世界中で人権思想の啓発活動が行われています。日本国内でも12月4日から10日までを「人権週間」と定め、さまざまなイベントや活動が実施されています。伊仙町においても、この人権期間に合わせて町内の小中学生を対象に、人権標語・ポスターを募集し、命の尊さや他人の尊厳を理解し、お互いの人権を尊重する意識を高めることを目的としています。選考委員によって優れた作品が選ばれ、町内の施設へ掲示、地域社会全体で人権意識を深める活動として活用しています。



与論町 「令和6年度 お話会」(茶花小)



児童代表はじめの言葉

与論町立茶花小学校では読み聞かせグループ『芭蕉布』によるお話会が開催されました。お話会を通じてユンヌフトゥバ(与論の方言)や与論の伝統、文化、歴史自然について興味を持ってもらうことを目的としています。『人権について』の本を読み聞かせした後、戦争中の与論島の当時の様子を映像で流しながら芭蕉布メンバーでもありオペラ歌手の加藤さんが歌う『さとうきび畑』を聴きました。改めて歌詞の意味に注目し厳しい時代を生き抜いた先人達へ思いを馳せました。



「芭蕉布」による読み聞かせ

管内その他の取組

奄美市 令和6年奄美市まなびフェスタ
宇検村 学校巡回読書まつり
親子読書(久志小中学校)
もちつき大会(阿室小中学校)
やけうちこ環境学習世界自然遺産博士講座
瀬戸内町 第19回子ども島口・伝統芸能大会
龍郷町 龍郷町PTA活動研究大会

喜界町 第2回島内駅伝競走大会
学校自由参観(喜界中学校)
サンゴの石垣修復体験(早町小学校)
島ゆみたの学習(喜界小学校)
徳之島町 ネット依存講演会
和泊町 今帰仁村交流
(わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト)
与論町 親子給食試食会(那間小学校)

令和7年春の「郷土に学び・育む青少年運動」

令和7年3月11日(火)～4月10日(木)

～家庭・学校・職場・地域等が一体となって取り組みましょう～

期間中の関連運動

春のあんしんネット・新学期一斉行動

令和7年2月～5月

危険ドラッグ・シンナー等乱用防止強調月間

令和7年3月11日(火)～4月10日(木)

家庭

- ・「早寝早起き朝ごはん」実践
- ・基本的な生活習慣の育成
- ・家族での語り合いや親子の触れ合いを実践

学校

- ・学校を中心に、家庭、地域、関係機関・団体等と連携し、児童・生徒の地域活動参加を推進
- ・生徒指導・安全指導の充実

職場

- ・「ワークライフバランス」の推奨
- ・勤労青少年に働く喜びを与える職場づくりに努める
- ・「家庭の日」、「育児の日」の子どもへの関わりや青少年育成活動への参加を奨励・支援

地域

- ・「青少年育成の日」を中心に、かごしま地域塾や子ども会活動など地域の特色を生かした青少年育成活動を支援・実施



「かごしま地域塾」

(1) 基本となる地域塾としての活動要件

- ① 次代へ引き継ぐ理念・精神等を設定している。
- ② 異年齢による精神鍛錬の場を設定している。
- ③ 年間を通じた学習活動の場を設定している。

(2) 地域に根ざした特色のある活動を展開している。

(3) 将来的に、自立・発展が可能な取組を行っている。

県内122の団体(うち大島地域では23団体)が「かごしま地域塾」に登録されています。

今年度大島地域では、新しく3団体が登録されました。地域に根ざした青少年育成活動を応援しましょう!!

新規登録地域塾

桜さきぼる地域塾 (奄美市)

崎原は奄美市南部の世界遺産緩衝地付近にある小さな集落です。その中で、地域の方々が中心になって、子供たちに炭づくりを教えたり、ヒカンザクラの咲く頃には、歩こう会を実施したりしています。他にもタナガ採りや魚釣りといった、自然を感じることができる活動が中心です。

特に炭づくりは、学校林の木を伐りだし、学校内にある炭焼き窯で炭を作ります。それを販売したり、バーベキューに使ったりしています。子供たち・保護者・地域が1つとなった活動をこれからも続けていきたいと思っています。



新規登録地域塾

芦候集落親子会 (宇候村)

長年にわたり豊年祭には、親子会が中心となって歓迎のアーチ作りを手作りで設置する活動が継承されており、今では伝統となっています。

また、令和2年から集落の献穀田グループと一緒に餅米作り活動を開始しました。毎年、年末には餅つきをして地域の方々にお餅を振る舞い、大変喜ばれています。

そして、令和6年から新たに地域の唄者の大先輩から毎週月曜日に島唄を習う活動が始まりました。将来、島唄を気軽に地域のおじおばと楽しく唄えるようになるために、今後も続けていきたい継承活動です。



田植えの様子



豊年祭歓迎のアーチ作り

新規登録地域塾

すみよし地域塾 (知名町)

すみよし地域塾は、地域の豊かな自然や文化を体験するプログラムを通じて、子どもたちにとって忘れられない原体験を提供し、その継承を目指して活動しています。昨年度は、地域の伝承や言い伝えをまとめたパンフレットを地元の皆さんと協力して作成し、多くの団体を迎えて集落散策を実施しました。

今年1月、姉妹都市・沖縄県今帰仁村の子どもたちを受け入れ、初の子どもガイドによる集落散策を実施。緊張しながらも、地域の魅力を伝えることで、自分たちのふるさとを改めて見つめ直す機会となったようです。これからも様々な活動を通じて、「自分たちの地域を考える場」をつくりたいと思っています。





今回は、大和村で平成20年度から現在まで、多年にわたり社会教育の振興や子ども会活動の充実、また、リーダー育成や体験活動の企画の支援活動をされている『勝 健一郎さん』をご紹介します。

勝さんは、大和村名音集落の子ども会育成会長や村子ども会育成連絡協議会会長や村青少年育成村民会議委員を務め、大和村の青少年の健全育成のために尽力されています。また、大和村内だけでなく、大島地区子供会育成連絡協議会顧問や鹿児島県子ども会育成連絡協議会理事も務められています。

これまで多くのイベント等の企画・運営を通じて、青少年育成活動を推進してきました。

今後も、勝さんのお力を借りながら、大和村の社会教育の充実に努めていきます。



自然体験活動

内閣府青年国際交流事業

内閣府では、国際社会や地域社会で活躍するグローバルリーダーを育成するため、5つの青年国際交流事業を実施しています。現在、2025年度の参加者を募集しています。

【内閣府青年国際交流事業】

- ・ 国際社会青年育成事業
- ・ 日本・中国青年親善交流事業
- ・ 日本・韓国青年親善交流事業
- ・ 「東南アジア青年の船」事業
- ・ 「世界青年の船」事業

(問い合わせ先) 内閣府青年国際交流担当室(TEL 03-6257-1434)
<https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/bosyu-2025.html>

鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業

岐阜・鹿児島両県の青少年が交流活動を通じて、歴史的な関わり合いを学ぶ中で、友情の絆を深めるとともに、異なる自然や文化を体験し、豊かな感性やたくましい創造力を育てることを目的とした事業です。県ホームページには研修記録が掲載されています。興味のある方は、ぜひご覧ください。

(問い合わせ先)
鹿児島県青少年男女共同参画課
青少年育成係
TEL:099-286-2557



県の相談窓口のご案内

かごしま子ども・若者総合相談センター(ひきこもり地域支援センター)

子ども・若者や、本人以外に保護者や教員等の支援者、どなたでも相談できます。
*ひきこもりに関する相談については年齢は問いません。

(相談方法) 電話相談、メール相談、来所相談(オンライン相談可)
訪問相談、巡回相談会

(相談事例) 不登校、ひきこもり、ニート、フリーター、ヤングケアラー、その他

場所: 鹿児島市鴨池新町1番8号 鹿児島県青少年会館2F

TEL: 099-257-8230 開所時間: 10:00~17:00(月曜日、年末年始を除く)

(相談受付時間: 10:00~16:30まで)

FAX: 099-257-8231

E-mail: soudan-center@hello.odn.ne.jp 相談受付時間: 随時

(返信にお時間を要する場合があります)

本人を尊重する支援を!

令和6年度沖永良部地区民生委員・児童委員現任研修会 (大島支庁地域保健福祉課主催)
ひきこもり支援コーディネーター 喜島達朗氏の講話より

* 本人のあるがまを肯定し、本人を置いてきばりにしない。

- ・ 本人の強みを見出して肯定的な関心を持つように(できないことを改善しようとする支援は×)
- ・ 本人を決して見下さない(本人に敬意を持って関わる)
- ・ 本人を分かったつもりにならない(本人から教わることも多い)
- ・ 社会通念や正論を押しつけない(本人はそこに傷ついている)
- ・ 本人のペースを理解(本人の時間は自分の時間と異なる)
- ・ 楽しい青春時代を回帰するように接する(自分も共に楽しむ姿勢を)



かごしま子ども・若者総合
相談センターホームページ